

ハイドロキシアパタイトによるエナメル質表面の修復に関する研究

荒川正嘉、石崎 勉、村上幸孝、渥美公則、安室 操、上田浩太郎、杉山眞次、尾崎哲則、吉田 茂

口腔衛生学会雑誌、第 49 巻、408-409、1999

<要約>

酸処理および研削処理したエナメル質試料を、合成方法の異なるハイドロキシアパタイト懸濁溶液で浸漬処理し、エナメル質表面の形状変化を電界放出型走査電子顕微鏡(FE-SEM)で観察した。その結果、湿式法により合成し、結晶制御したハイドロキシアパタイトの懸濁溶液で処理すると、エナメル質表面は平滑な形状へと変化した。なお、作用させたハイドロキシアパタイトの種類により、その表面形状に差が認められた。

(索引用語：ハイドロキシアパタイト, 人工エナメル質表面、再結晶化)